

5-1スマハピトリックアート～ドキワク大作戦～

5年1組 手塚 裕美子 児童数 37人

1 単元について (1)思いや願い

子ども

これまでの総合での様子

- ・地域の魅力を発見する力、伝えたいことを要約する力、自信をもって発表する力などが身に付いた。
- ・自分たちの成果を見せるために何を伝えたいのか、目的意識・相手意識を大切にできた。また聞いてもらった人への感謝の気持ちをもつことができた。

子どもたちの思い、願い

- ・話し合いの中で、話を聞いたり反応を示したりして、相手のことを考える力を伸ばしたい。
- ・みんなが楽しんで行うためには、教え合いや助け合いを大事にし、一つにまとまろうとする思いをもつようにしたいと思っている。

子どもの思いと材とのつながり

- ・学校や地域の人々が笑顔になったり楽しんだりしてほしいという思いから、年齢関係なく絵を見て楽しめるトリックアートを材にした。

子どもと決めたゴールの姿(目的)

- ・学校や地域の人々が、トリックアートを見て笑顔になって幸せな気持ちになってほしい。
- ・絵を見てドキドキしたりワクワクしたりした気持ちがたくさんの人に広がり楽しんでほしい。

教師

子どもの実態(成果、さらにのばしたい)

- ・一人一人がよい考えや思いをもっていても、表現することが苦手な児童もいるので、自信をもって伝える力を伸ばしたい。
- ・相手の話に耳を傾けることができるように、うなずいたり反応を示したりすることで聞く力をさらに伸ばしてほしい。
- ・活動を通して、教え合ったり助け合ったりすることで、自分の生活に生かす力となってほしい。

この材にした理由

- ・コロナ禍により人と人とのコミュニケーションが希薄になっている中で、絵を見たり体験したりすることで、豊かな心を育ててほしいから。
- ・トリックアートをみんなで協力して作る楽しさを感じたり、できた作品を相手(学校や地域の人)と一緒に楽しんだりすることができるから。

単元のゴールの姿(教師の思い願い)

- ・作品を見たり作ったりすることを通して、学校や地域の人々を笑顔にしたいという思いを表現できるようになってほしい。
- ・自分もこのまちの一員として、生活を楽しくしようとする気持ちを高めたい。

(2)材固有の価値【トリックアート】

- 見ている人が作品に入って楽しむことができる。○見たり触ったりして親しむことができる。
- 見る角度を変えたり写真を撮ったりして錯覚を体験することができる。
- 日常にアートを取り入れることの楽しさを考えることができる。
- 自分たちの描いたデザインで周りの人を笑顔にすることができる。

(3)本単元における探究課題と資質能力

本単元における 探究課題	本単元における探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
見ている人を魅了するトリックアートの面白さとアートを取り入れた工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・トリックアートには、見ている人が作品の一部になる楽しさや面白さがあることに気づき、工夫しながら作品を作ることができる。(知識) ・トリックアートを通して、見る人たちに驚きや楽しさを生み出していることや、アートは子どもも大人も楽しめるものであることに気付く。(知識) ・学校や地域の人々が笑顔になるトリックアートをつくるために、必要なデザインを考えることができる。(技能) ・自分のアイデアでくらしを楽しくするよさを理解し、自らの生活を楽しくしようとする思いの高まりは、探究的に学んできた成果であることに気付く。(探究的な学習のよさの理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の人々が笑顔になるトリックアートにするために、課題を見つけ出し目的意識をもって、長期的な見通しをもつことができる。(課題設定) ・学校や地域の人々が笑顔になるようなトリックアートにするために、目的に合う情報を収集し、蓄積することができる。(情報収集) ・トリックアートが学校や地域のどこに描くとよいか、見てくれる人が喜んでくれるデザインになっているかを専門家からの助言をもとに分析する。(整理・分析) ・トリックアートの面白さが伝わるように相手意識や目的意識をもって制作し、思いを表現することができる。(まとめ・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作する中で気付いたことやできることが増えた自分のよさや成長を理解しようとする。(自己理解) ・見ている人が笑顔になる作品にしたり、トリックアートの作品を友達と共有したりすることを通して、友達の考えを受け入れて活動しようとする。(他者理解) ・トリックアートの面白さを実感し、様々な人を楽しませたいという願いをもち、進んで取り組もうとする。(主体性) ・自分や友達の意見を生かし、協力して制作に取り組もうとする。(協働性) ・自分たちの作品が、見ている人を楽しませていることを感じて、自らのくらしを楽しく工夫しようとする。(社会参画)

(4)単元目標

学校や地域の人を笑顔にするために、自分たちでトリックアートを描いたり学校や地域の人を楽しんでくれるアートを制作したりすることを通して、アートを日常に取り入れ、くらしをより楽しくしようとする専門家の思いに気付き、自分たちの工夫を生かした活動が自分や学校、地域の人のからしをよりよくすることが分かり、自分たちが制作する中で学校や地域の人々が笑顔になり、楽しんでもらえるようなトリックアートについて考え、進んで自らの暮らしを楽しく工夫しようとする。

(5)単元構想 全70時間（総合70時間）

○活動	次の活動につながる子どもの思い	関連する教科・内容	【小単元のねらいと手立て】
<p>今年の総合は、どんな総合にしたいか考えよう。(総⑤)</p>			
<p>○身に付いた力や総合で大切にしたいことを出し合い目的を話し合う。 ○目的に合った材を話し合って選択・判断する。 ○材でやりたいことを話し、年間の大まかな計画を立てて見通しをもつ。</p>			<p>クラスみんなの思いや願いを共有し、1年間を通して総合で大切にしたいことを考える。そのために、話し合いでのルールを確認したり、この段階での目的や目標を明確にしたりして、1年間の見通しをもてるようにする。</p>
<p>・今年の総合では、学校や地域の人を笑顔にできるように、小さい子からお年寄りまで楽しんでもらえるように活動しよう。 ・コロナ禍で学校や地域の人同士で関わりが少なくなっている。マスクをしていて、笑顔になっているかもわからない。少しでも笑顔になって楽しんでもらえるようなトリックアートにするには、どうしたらいいかな。</p>			
<p>5-1スマハピトリックアート～ドキワク大作戦～</p>			
<p>トリックアートを知って描いてみよう (総⑩) (国④)</p>			
<p>○トリックアートの歴史や描き方を調べ、描いてみる。 ○難しかったところ、上手く描くためのコツについて話し合う。 ○実際にトリックアートを見に行く。 ○自分たちで挑戦したい作品を選び、作品を描く。 ○できた作品を報告し、自分たちだけでは解決できない難しさに気付く。 ○(株)エス・デーのAさんからトリックアートの描き方を教わる。 ○教わったことをもとに、描いてみる。 ○描くための技を整理する。 ○自分たちの学びを振り返り、これからの見通しをもつ。</p>		<p>【国語】インタビュー きいてきいてきいてみよう</p>	<p>トリックアートの魅力を知るために、調べたり描いたりして確かめる。自分達でトリックアートを描き、うまくいった点や難しい点を出し合い、自分たちの課題を解決するために、Aさんと出会うようにする。</p>
<p>・トリックアートを描くには、影の濃淡や光の差し方を考えることが大切なんだね。 ・描くのは難しいけど、「すごい」「どうなっているの」と話がもりあがれるのは、嬉しい楽しい。学校みんなにも見てもらいたいな。</p>			<p>見てくれる人が楽しめるようにするために、学校の児童や教師に作品を見てもらい、アンケートを取る。改善点を出し合い、さらによりよいトリックアートにできるようにする。</p>
<p>トリックアートでみんなをスマハピにしよう (総⑩) (国④)</p>			
<p>※小単元構想 参照</p>		<p>【国語】話し合い よりよい学校生活のために</p>	<p>学校や地域の人々が喜んでくれるような作品にするために、どんな場所にどのようなトリックアートがあったらよいかを学校や地域の方に取材できるようにする。</p>
<p>・学校みんなが楽しんでくれるようなデザインを考えることができたね。 ・学校や地域の人々が作品を見て楽しんだり会話が生まれたりするデザインを考えたいね。</p>			
<p>トリックアートでみんなをドキワクにしよう (総⑫) (国④) (図④)</p>			
<p>○これまでの活動をもとに学校や地域の人を楽しませたいという願いをもつ。 ○学校の人にトリックアートを制作することを伝える。 ○(株)エス・デーの協力のもと、トリックアートを制作する。 ○見に来てくれた方々の意見や、自分たちの活動について振り返る。</p>		<p>【図工】絵 心に描ったあの時の場所</p>	<p>活動を通して、学校や地域の人を笑顔にするという目的を実現できた達成感を味わえるように、活動してきたクラスや自分の成長、今後の生活の仕方にも目を向けられるように、振り返りの時間を設ける。</p>
<p>・自分たちが考えデザインした作品でたくさんの人を笑顔にしたり楽しませたりすることができた。 ・作る側も見ている側も楽しめるアートの魅力を改めて気付くことができたよ。自分たちの日常にアートがある楽しさをこれからも見つけていきたいな。</p>			

2 小单元について

(1)小单元目標

学校の人をトリックアートで楽しませたいという願いを実現するために、人や物が絵の中に入るアートや全校を楽しませるアートを制作する活動を通して、人や物が作品の一部となる面白さや、その場に応じた多様な見せ方があることに気付くとともに、自分たちのデザインで見ている人を楽しませたり作品の中に入り込んだりして楽しむよさを感じて、場所の特徴やよさを生かした作品をつくろうとする。

(2)具体の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>○トリックアートには、人や物が絵の中に入ったり作品の一部になったりする楽しさや面白さがあることに気付いている。 【知①】</p> <p>○自分たちで見ている人を楽しませるトリックアートのデザインを考えることができる。 【技①】</p> <p>○トリックアートには、人や物が作品の一部になり、その場に応じた多様な見せ方があることに気付いている。 【知②】</p>	<p>○学校の人を楽しめるトリックアートにするために、トリックアートの楽しさや面白さについての課題を見つけ、課題の解決に向けた方法を考え、見通しをもつことができている。 (課題設定) 【思①】</p> <p>○学校の人が笑顔になるようなトリックアートにするために、インタビューやアンケートを行い、適切な方法で収集することができる。 (情報の収集) 【思②】</p> <p>○専門家の話やもらった反応を整理して分析し、学校のどこにトリックアートを描くか、どんなデザインにするかを自分たちで決めている。 (整理・分析) 【思③】</p> <p>○トリックアートの面白さが伝わるように相手意識や目的意識をもって制作し、思いを表現することができる。 (まとめ・表現) 【思④】</p>	<p>○トリックアートづくりを通して、自分の思いをもちながら、進んで取り組もうとしている。 【主①】</p> <p>○見ている人が笑顔になる作品にしたり、トリックアートの作品を友達と共有したりすることを通して、友達の考えを受け入れて活動しようとしている。 【主②】</p> <p>○トリックアートの面白さを実感し、様々な人を楽しませたいという願いをもち、進んで取り組もうとしている。 【主③】</p>

(3)学年部会で目指す姿の実現に向けて

学年部会テーマ 長期的な見通しをもって計画を立てたり、見直したりする姿

学年部会テーマに近づくために、この単元で目指す姿

- ・全校のみんなにトリックアートに楽しんでもらうために、必要な計画を考える姿。
- ・自分たちだけでなく、専門家の助言をもとに修正したり改善したりして、よりよいトリックアートにするための見通しをもつ姿。

どんなトリックアートにすれば、学校のみんなは楽しんでくれるかな。

- 学校の人にトリックアートに楽しんでもらう計画を立てる。【思①】
- まちや学校にどんなものがあるかを見つけ、デザインを考える【技①】
- どんなトリックアートがあったら楽しめそうか全校にアンケートをとる。【思②】
- アンケートをもとに、どんなデザインにするか決める。【知①】【思③】(本時)
- 活動の意図や内容について、校長先生に相談する。【主③】
- 学校に合ったトリックアートを制作するために、大事なことを明確にして計画を立て直す。【思①】【主③】
- 校舎のつくりや全校の様子を調べたり調査したりする。【思②】
- エス・デーさんに相談し、制作の見通しをもつ。【思③】

「おもしろい」「楽しめる」「本町小ならではのもの」などの思いを知ることができたね。今まで描いたトリックアートもいいけど、自分たちで描くオリジナルのデザインを考えていけたらいいね。絵を見たり作品の中に入ったりして、人と人のコミュニケーションが生まれるのもトリックアートのよさなんだね。学校のみんなが楽しんでくれるように、まちに行っているいろいろなデザインを見つけてみよう。

考えたデザインを実現するために必要なことはなにかな。

- まちにある看板やデザインを見て、自分たちのデザインに取り入れられるようにする。【技①】
- みんなで描くデザインを決める。【思③】
- エス・デーさんに制作予定のデザインを見てもらい、アドバイスをもらう。【思③】【主②】
- トリックアートを制作する。【技②】【思④】【主③】
- 活動の意図や内容について再度校長先生に伝え、許可をもらう。【主③】

インタビューしたことや自分たちが伝えたいことをトリックアートのデザインとして決めることができたね。トリックアートを見たり写真を撮ったりして楽しむだけでなく、「どうなっているんだろう？」ってたくさん話してほしいね。丁寧に下書きをしたり色を塗ったりして仕上げていきたいな。

学校のみんなに見てもらうにはどうすればよいかな。

- 自分たちが作った作品を見てもらう計画を立てる。【思①】【主①】
- エス・デーさんに自分たちの作品を見てもらう。【思③】
- 実際に掲示しに行く。【主③】
- トリックアートを見てくれた人の感想を聞く。【知①】【技②】
- 活動を振り返り、これからの活動について考える。【思②】【主①】

みんなが見て楽しんでほしいから、毎日通るスロープがいいかもしれないね。絵を見たり作品の中に入ったりして、人と人のコミュニケーションが生まれていたね。学校のみんなが楽しんでくれて嬉しいな。みんながいろいろ話しながらトリックアートを見てくれて嬉しかったな。写真を撮って楽しむ姿を見られて、とても満足したよ。自分たちでデザインするのは大変だったけど、やってよかったよ。今度はまちの人にも笑顔になってほしいな。自分たちのトリックアートをまちの人にも見てもらいたいな。

② 事業実施報告書詳細

		学校名		本町小学校	
時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応	
15	地域	トリックアートについて調べ、自分たちのまちにトリックアートがあることに気付き、実際に体験した。		トリックアートとは、どのようなものなのかを自分たちで体験することで、見通しをもって活動に取り組もうとしていた。	
21	学校 教室	自分たちで描いてみたいトリックアートを考え、制作を行う。専門家にコツを教えてもらいながら、描くことの難しさを実感する。写真に撮って自分たちで見ることで、面白さを実感した。	 	自分たちで描いてみることで、難しさやおもしろさを体験することができた。	
14	地域	自分たちでは出せない立体感のコツを知るために、専門家の制作したトリックアートを体験した。また、まちにあるもの(風景やまちならではのものを)を見たり、自分たちのデザインに取り入れたりして考えた。	 	トリックアートならではの立体感を感じることができた。自分たちが描く上で、自分たちらしさがでるようなデザインにしようとするようになった。	
20	学校	日本の四季を感じたりまちにある動物園を参考にしたりして、扉を開けられるようなデザインにして掲示した。	 	見てくれている人たちが笑顔になってほしいという思いをもって取り組むことができた。	

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>まちの風景に触れながら、自分たちのまちのよさをデザインに取り入れることができるようにした。まちにもトリックアートがあるので、そのアートに触れながら楽しんで取り組めるようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>地域に出る中で、どこに目を向けるかが難しかった。まちに出れば目をひくデザインはたくさんあるが、トリックアートとして取り入れるものに絞るには難しいところもあった。また、描くものが大きくなれなくなるほど描き直すのも難しかった。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>トリックアートを自分たちで描いたり体験したりして楽しむことができた。自分たちのまちのよさを取り入れることで、自分たちならではのものを描くことができ満足していた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>トリックアートを子どもたちが描くのは、難しいだろうと思っていたが、まちの風景やまちのデザイン、まちのトリックアートに触れることで、より立体的になり、上手になりたいという子どもたちの思いと一緒によいものを作りたいと思った。子どもたちが描いたトリックアートを他学年の教諭も楽しんで写真を撮影し、参加してくれていた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>まちには魅力あるものが多くあふれているが、今回のトリックアートではデザインに取り入れる方法を考えた。まちのどこに視点をおき、どこを切り取って考えていくかは児童の思考も大事だが、学習の目的を明確にもつことでブレずに取り組めるようにしていきたい。</p>